

南幌町の開拓の歴史、それは同時に水との戦いの歴史でもあった

7月1日は「治水感謝の日」

南幌町では、夕張川の治水工事で犠牲になった方々の供養と治水工事の成功に感謝するため、毎年7月1日を「治水感謝の日」としています。

～南幌町の発祥～

蝦夷地（現北海道）探検の第1人者、松浦武四郎氏が千歳川と夕張川を調査したことにより南幌町に初めて光があてられることになりました。

明治19年（1886年）に新潟県から10戸が入植し、幌向原野に越後村を開きました。その後入植団体が相次ぎ、明治26年（1893年）に宮城県から石川邦光氏が77戸250人余りを引き連れて入植し、石川部落をつくりました。

この年、岩見沢村・幌向村（現南幌町）・栗沢村（現岩見沢市）が戸長役場となり、南幌町開拓の年となりました。明治42年には二級村制が実施されています。氾濫を繰り返す夕張川の治水にあたったのは、当時北海道庁札幌治水事務所の保原元二技師で明治43年から工事が完成するまでの27年間に夕張川治水事業に尽くしました。

～開拓後何度も氾濫して水害となった夕張川（現旧夕張川）～



夕張川は、本町開拓の初期、明治30年ごろまでは往時そのままの流路で川の中には倒木、流木等多くの障害物があり、川上より流れて来た土砂は川底を浅くしてどこが本流かわからないくらいでした。そのため、少しでも降雨が続けば氾濫して、下流一体は水湿地帯となりました。その水害は移住民たちに多大な損害を与えていたことから、対策が強く要請されました。

夕張川治水事業の根本的対策として新川切換え工事は大正11年から着手されましたが、豪雨による氾濫は常に絶えることなく、その対策は常に怠ることができませんでした。

堤防の延長や補強を繰り返しながら、昭和11年に町民待望の新夕張川切換え工事が完成すると、旧川はわずかに排水の用をなすにすぎず、長年苦心を重ねた堤防も無用の長物となりました。

ここまで至るには開拓者の苦闘の歴史が秘められ、今日の南幌町を思い、その基礎をつくった先人の不撓（ふたう）の努力と偉業に感謝し、これからも忘れず、後世にも伝えていかなければならないと思います。



～南幌町更生の恩人：保原元二氏～

夕張川は、もとは千歳川に合流しており、合流後は江別川と称されていました。江別川は川幅が狭いなど夕張川の洪水を受けることができず溢れさせ、一帯は常に水害となっていました。くわえて北国特有の泥炭地なため、水はけが悪く、水が引くまで10日ほどかかり農作物をだめにしました。そして明治31年に洪水が発生。同年、北海道庁に「北海道治水調査会」が設置され、いよいよ石狩川の本格的な治水が動き出しました。明治43年からの第1期拓殖計画で石狩川と支川の調査が始まり、夕張川調査には道庁から保原元二技師が派遣されました。これは運命でした。保原技師は調査と測量を進めつつ、この年に夕張川治水の大方針を決断します。

石狩低平湿地を蛇行していた夕張川を、南西へと流路を変える地点から11kmの新水路を引いて石狩川に直接流す、夕張川新水路計画を立案設計するに至りました。しかし新水路工事は、国の経済状況等の影響を受け、ようやく大正11年に着工したが進まず、その間住民は工事推進を訴え、保原氏自らも国に陳情するなど必死の運動がつけられました。昭和11年8月、人々の歓呼のなか夕張川新水路は通水しました。保原氏はこの後、北海道庁を退官します。技師としての生涯を夕張川新水路に捧げました。その成果は治水史上画期的な成功を収め、この工事を終始担当し、完成させた保原元二石狩川治水事務所長は、現在も更生の恩人として語り継がれています。



～7月1日を治水感謝の日に～

南幌町を水害常襲地帯から穀倉地帯へと変貌させたこの歴史的偉業は、夕張川洪水の禍根を断とうと、挑みつづけた人々の英知と情熱で成し遂げられたものです。

夕張川の開発事業に従事する方は、その事業のできる喜びと信仰による安心感を浴するものと言われ、多くは開発の進行につれ、これら心のよりどころとなる施設を設置するが、夕張川治水工事でも先導者はこのことを心して、開拓の神と言われている源義経を祀ってある日高の平取神社からその分霊を請い、旧清幌橋に接続して堤防と同じ高さの台場をつくり義経神社を建立しました。その後労働者の慰労祭とともに夕張川治水工事殉職者の慰霊祭を行いました。

長年にわたる工事は地質の関係から非常に難工事であり、事故が起こることも多く、15年間に10名の尊い犠牲者を出しました。



犠牲となった方の供養と治水工事の成功に感謝するため、町では、毎年7月1日を治水感謝の日として、全町公休日（現在は公休日ではありません）として、町民は生業を休んで義経神社（現在は南幌神社に合祀）に詣で、感謝祭を行いました。現在も7月1日に三重緑地公園内に移転された保原元二氏像と彰徳碑前で治水感謝式が執り行われています。